

第 702 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

B S Nテレビ 「日本のチカラ ぼくら令和のたけのこ族」

<放送日時>令和6年11月17日(日) 5:45~6:15 放送

令和6年11月21日

BSN新潟放送

第 702 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 6 年 11 月 21 日（木）午前 11：00～

2. 開催場所 6 F 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長	馬場省吾	委員	渡邊信子
委員	佐野哲郎	委員	馬場幸夫
委員	三井田由香		

○審議番組事前レポート提出者

委員	大橋未来子	副委員長	佐藤元
委員	高橋信	委員	石坂智恵美

○放送事業者側出席者

社長	島田好久	常務取締役	五十嵐幹史
編成局長	島田讓	報道制作局次長	吉井秀之

<説明員> 報道制作局テレビ制作部ディレクター 内藤百花

事務局 金山英功（編成局テレビ編成部部長）

4. 議題

1 報告事項 令和 6 年 12 月の番組について（各担当）

2 審議事項 テレビ番組

「日本のチカラ ぼくら令和のたけのこ族」

（放送日時：令和 6 年 11 月 17 日（木）5：45～6：15 放送）

5. 議事の概要

島田社長のあいさつに続き、各担当からの 12 月度番組報告に続いて、テレビ番組「日本のチカラ ぼくら令和のたけのこ族」（令和 6 年 11 月 17 日放送）についての審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

○馬場さんとは（彼の）前職から縁があり、番組を身近に感じた。現在、地元で活躍していることが感じられる、いい番組だった。

○光の竹アートが圧巻だった。世代を超えた輪が広がっていた。

○竹や竹林の面積や生産量にも触れてほしかった。

○一人の思いが大きく周りを動かし、大きく結実するすばらしさを感じた。

○地元の産業が厳しい田上町に光だけで無く、当然陰もあるという対比があった方がよかった。

○タイトルが我々世代には懐かしく、面白い。

○町を挙げてのイベントだと思うが、行政の関わりが映像にはなかった。自治体視点も知りたかった。

○全体を通して言葉がストンと入ってきた。惹きこまれた。

○このイベントを今後どうするのか、どうなるのか知りたい。

○イベントに向けての動きを時系列で追った構成はわかりやすく、全編無理なく理解できた。

○中学生たちが楽しそうに一所懸命に物販やダンスを踊ってイベントを盛り上げるシーンは大人たちのリーダーシップや協力態勢が、思春期の彼らにオープンマインドを根付かせていると感じた。

～新潟放送 報道制作局テレビ制作部 内藤 百花より～

お忙しい中、丁寧に番組を審議していただきましてありがとうございました。

今回、番組の舞台は人口1万人の小さな町「田上町」。道の駅たがみの馬場駅長を中心に、町の宝「タケノコ」を使って、町を盛り上げようと奮闘する人々の様子を描いたドキュメンタリー番組でした。番組を通して、馬場駅長の魅力的な人柄や田上町の熱い雰囲気伝わったようで大変嬉しいです。

また、全国で人口減少や若者流出という問題を抱えている地域は少なくないと思います。この番組を通して田上町の取り組みを知っていただくとともに、視聴者の方に自分の地域を見つめなおすきっかけにいただければ幸いです。

私にとって初めてのドキュメンタリー制作だったため、取材も思うようにいかないことが多

かったのですが、今回皆様からいただいたご意見を今後の番組制作にしっかりと活かしていきたいと思えます。この度は貴重なご意見をありがとうございました。

【文責：番組審議会事務局】